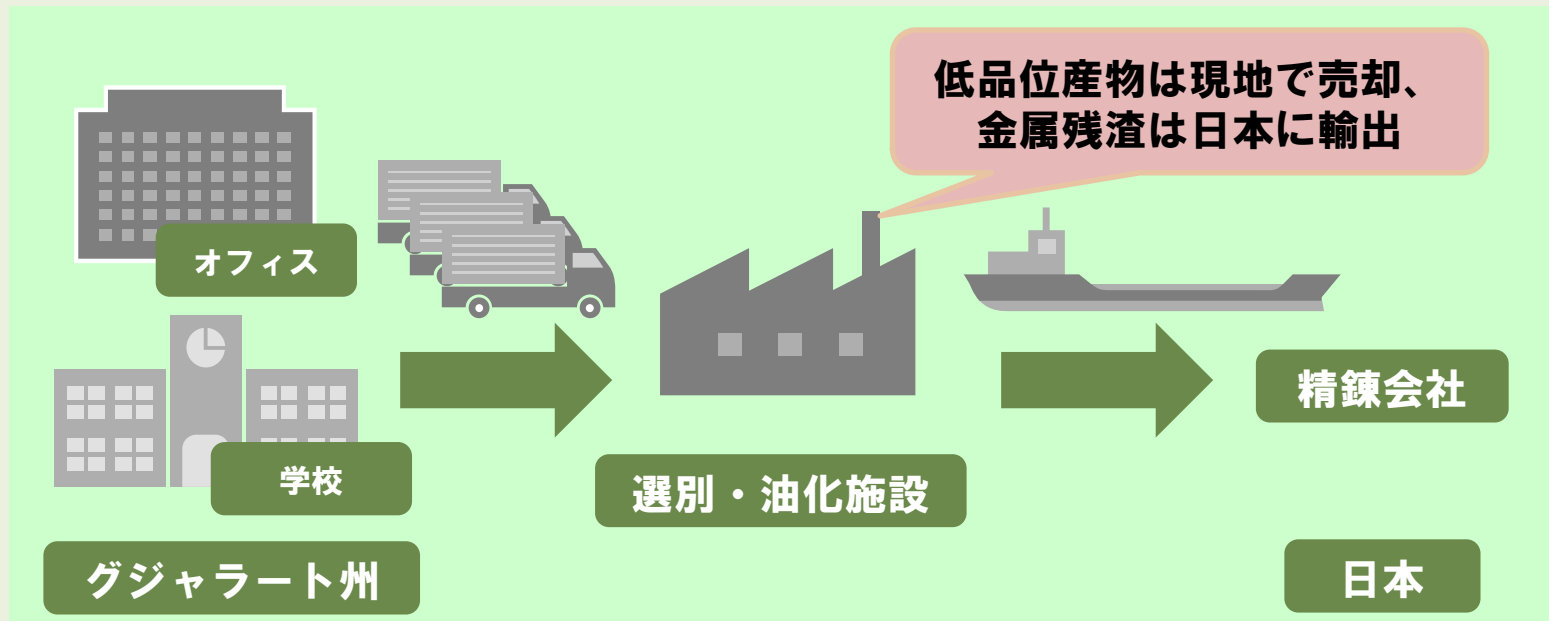


採択事業の紹介

インド国グジャラート州における携帯電話を中心とする小型家電等リサイクル事業 日本環境設計株式会社（平成23、24年度）

<目指している事業>

- 複数のルートから廃小型家電等を回収し、現地で選別・油化を行い、金属残渣については日本に輸入し、精錬会社においてリサイクルを行う事業。
- 日本環境設計は、第1フェーズでは、基板等の回収のサポートおよび輸出入を行う。第2フェーズでは、現地カウンターパート企業と連携して選別・油化施設を設置、運営する。
- 上記モデルによる再生油を使用して発電することで、携帯電話 1 トンあたり7,369MJ熱回収することができ、その分環境負荷低減につながる。



採択事業の紹介

<実現可能性調査での成果>

グジャラート州における廃小型家電等の回収ルートの確立

- 企業、携帯電話メーカー、中古携帯電話販売事業者、学校、リサイクル事業者といった複数のルートから、年間数百トン程度の廃小型家電等を回収することが可能であることを確認した。
- 特に、学校については、環境教育という観点からも、回収の取組に対する受容性が高いことが明らかになった。

事業実現性の検討

- 実験的にインドで回収した廃小型家電等を日本に輸入し、日本国内の施設で油化を行った。
- 再生油発熱量、油化後残渣の貴金属含有量は、日本国内で回収される廃小型家電等を同等の品質であることを確認した。
- 廃小型家電等の大規模な輸出については、インド側での輸出許可の調整が難航し、課題が残った。

<実現可能性調査後の状況>

- 新たなカウンターパート企業と連携し、インド側の輸出ライセンスを取得した。日本側での輸入ライセンスも2015年11月に取得した。
- まずは、300トン程度のパソコンの基板等を輸出し、処理を行う予定である。第1回目となる輸出を2016年3月にインドより出荷した。将来的には、1,500~2,000トンを扱うビジネスを目指している。
- 選別・油化施設の建設に向けて、グジャラート州の監督官庁と必要要件等について調整を進めている。